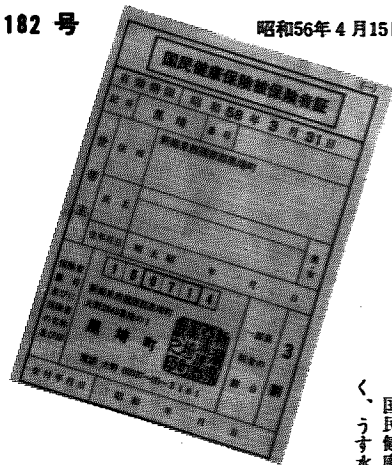


# あなたの余暇を有効に……

開催日	会場	講師	内容
書道教室 毎月2回金曜日 午後7時～9時	中央公民館家庭室	柄沢光平殿	北越書道会発行「蘭亭」、講師の手本をもとに書道講習を行っています。また毎月競書に出品昇級、昇段試験も受けられます。
絵画教室 (A)初心者コース 4月～6月2回 土曜日午後1時～5時 (B)通常コース 毎月2回土曜日 午後1時～5時	中央公民館講堂	穴沢祐春殿	絵画基礎講習会 初心者の方で絵画をはじめたい方。
	中央公民館講堂	穴沢祐春殿	絵画講習会
婦人学級 (A)煎茶コース 毎月3回土曜日 (B)総合コース 通年	中央公民館家庭室	北村フジ子殿	煎茶講習会
	社会教育施設	専門職員	町内施設、文化財見学、古典鑑賞、健康づくり講座、ふるさとの民具づくり等。
寿学級 年間を通じて行い 一年間で終業とする。	社会教育施設	専門職員	老人の生涯教育を目的としています。習字、詩吟、サイクリング、盆栽、将棋等の趣味をいかしていただく内容です。

黒埼町教育委員会、黒埼町公民館では左記の学級、講座を開催しております。あなたも参加してみませんか。申し込み、その他詳細については黒埼町教育委員会へ。  
TEL (7) 5211までおたずね下さい。

## 国民健康保険証が かわりました 4月1日から (古い保険証で受診できません)



国民健康保険証が今月から新しく、うす水色にかわりました。これまでの黄色い保険証は、使えません。初診、再診を問わず、医療機関をご利用のときは、必ず新しい保険証を窓口へお出しください。保険証の配布と古い保険証の回収は、自治会長さんを通じて行いました。新しい保険証の住所や氏名・生年月日などに誤りがありましたら、お手数でも役場福祉課の窓口へお持ちください。●親元を離れて修学される方へ別紙の保険証を交付します。在学証明書または学生証、印鑑、新しい保険証を持参の上、役場福祉課へおいでください。●国民健康保険加入、脱退の届出は早目に——職場の健康保険に加入した方や、勤めていた職場の健康保険を脱けられた方は忘れず、早目に国民健康保険の加入、脱退の手続きをしてください。●保険料は納期内に完納を——国民健康保険税はすべて、加入者のみなさんの医療費を支払うために使われます。もう一度、納め忘れがないか、お手元の納付書をお確かめください。問い合わせ 役場福祉課 (7) 3101内線27番

国民健康保険証が今月から新しく、うす水色にかわりました。

これまでの黄色い保険証は、使えません。初診、再診を問わず、医療機関をご利用のときは、必ず新しい保険証を窓口へお出しください。

保険証の配布と古い保険証の回収は、自治会長さんを通じて行いました。新しい保険証の住所や氏名・生年月日などに誤りがありましたら、お手数でも役場福祉課の窓口へお持ちください。

●親元を離れて修学される方へ別紙の保険証を交付します。在学証明書または学生証、印鑑、新しい保険証を持参の上、役場福祉課へおいでください。

●国民健康保険加入、脱退の届出は早目に——職場の健康保険に加入した方や、勤めていた職場の健康保険を脱けられた方は忘れず、早目に国民健康保険の加入、脱退の手続きをしてください。

●保険料は納期内に完納を——国民健康保険税はすべて、加入者のみなさんの医療費を支払うために使われます。もう一度、納め忘れがないか、お手元の納付書をお確かめください。

問い合わせ 役場福祉課 (7) 3101内線27番

### 国民年金

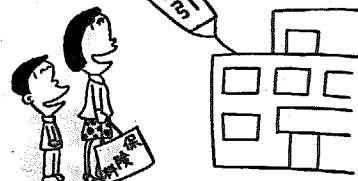
#### 「二年前納」で 保険料は

国民年金の定額保険料は、この四月から一カ月につき四、五〇〇円に改められました。

これは、昨年の法改正で制度に大幅な改善を加えたことによるものです。加入者みなさんの負担はこれまで以上に重くなりますが、国民年金をよりよい制度にするためのやむを得ない措置ですので、ご理解と協力をお願いします。

4月は前納の月です

前納額1万



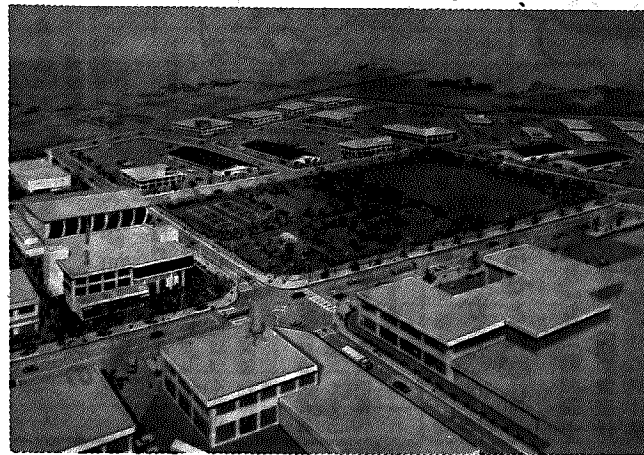
理解と協力をお願いします。さて、四月は保険料を一年前納

する月です。昭和五十六年度分の定額保険料は年間五四、〇〇〇円ですが、四月に「一年前納」をする一、三〇〇円割引かれ、五二七〇〇円となります。掛け忘れを防ぎ、しかも割引きのある「一年前納」に、あなたもこの機会に切り替えてみてはいかがでしょうか。●保険料を一年前納すると、○定額保険料 五二、七〇〇円 ○付加保険料 四、六八〇円 ○定額十附加 五七、三八〇円 となり、納期限は四月三十日までです。

### 新潟流通センター 進出企業を募集

新潟市の小新・亀貝（北場の隣接地）地区に流通センターの建設が行われており、五十七年度から進出企業によって建物を建築し、操業を開始しますが、全面操業は六十年ころと見込まれています。そこに隣接する「団地外地区」に進出する企業の募集を行っています。①団地外地区とは、センターに卸売業・倉庫業・運送業の企業等が進出しますが、これらの企業に関係する（たとえば、木・紙・自動車合成樹脂製の包装材料製造工場など）を配置し、企業が一体となって効率のよい事業を行うことができるようにと計画した地区です。

この地区の開発は、土地所有者全員が一緒になって、土地区画整理組合を設立し、新潟市分が五・三ヘクタール、本町分が八・一ヘクタールとなり、二月から埋立整地工事に入っています。進出企業に対する分譲は、それぞれ、来年二月初ころから始まることになっていきます。進出を希望される企業は、新潟市流通センター建設室（0252-21000番、または黒埼町役場企画調整課（7）3101番へ）お問い合わせ下さい。



完成予想図

## サケの稚魚

### 35万匹を放流

信濃川漁協  
サケ・マス  
部会らが…



帰って来いよ！と願いをこめて放す児童たち

信濃川漁業協同組合（斉藤金二郎会長）では、三月十九日、本町交通公園裏から中ノ口川へ、サケの稚魚、およそ三十五万匹を放流しました。本町から放流するのは初めての

ことで、当日は、大野小学校の児童百三十人が交替で、バケツに入れてもらった稚魚を「帰って来いよな」と声をかけながら放流していました。この稚魚は新潟市の舞浜ふ化場で、四一五センチほどに成長したもので、およそ四年後には産卵のため同じ川に戻って来るといわれており、その確立はわずか〇・七パーセントに過ぎず、大半は大きな魚のエサになります。近年では獲る漁業から、つくる漁業への転換が広く浸透し、各地でふ化場などが建設され、放流も盛んに行われております。今回放流された稚魚は、君たちが中学二年生になったころ、一人前の大人となって中ノ口川へ戻って来てくれるでしょう。

## 稚魚を放流して

大野小 青木 正徳



はくちら四年生は、中ノ口川にサケの稚魚を放流しました。わずか五センチ位の小さな稚魚をひとりひとりバケツに入れてもらい、「元気に帰ってくるように」と思いながら、大切に川に流しました。パシヤンと川にもぐったサケは、すぐに見えなくなりました。川に



もどってくるのはほんのわずかですが大きなサケが元氣にもどってくるのを見たいと思います。